

コアシンポジウム 1

「消化管診断学の新展開【胃疾患の内視鏡診断・病理診断の最前線】」

主司会 八尾 隆史（順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学）

副司会 八尾 建史（福岡大学筑紫病院内視鏡部）

近年、*Helicobacter pylori* 除菌後の患者や未感染者の増加も相まって胃疾患そのものも変貌を遂げ、従来にない病変に遭遇するようになってきました。内視鏡機器開発や内視鏡診断技術の進歩により診断法も進化してきましたが、新しい内視鏡診断学のみならず、新しい病理診断学も要求されています。以上のような背景を鑑み、胃疾患に対する最新の知見をレビューしたいと思います。奮って演題を応募下さい。